

会報



広島県高P連

NO. 175

発行所

広島市中区八丁堀11番28号
朝日広告ビル4F
広島県高等学校
P T A 連 合 会
電話(082)223-3347
FAX(082)223-3351
HP www.hiroshima-koup.sakura.ne.jp/

県高P連国公立大学進学説明会
とき 令和四年八月十一日
ところ 広島県民文化センター
多目的ホール



最初に、広島県高等学校PTA連合会会
長岡崎光治から挨拶があり、次のような順
で講演及び説明がありました。

■講演者

●学校法人河合塾広島校校長

長谷川智彦氏

親子で学ぼう！大学進学講演会

この夏知れば差がつく大学入試

■大学及び大学校

- ①海上保安大学校②福山市立大学③尾道市立大学④県立広島大学⑤叡啓大学⑥広島市立大学⑦広島大学

(始十二時二十分～十六時二十分終)

昨年、一昨年はコロナ過で中止となり、三年ぶりの開催となった本説明会は、席の間隔を取った四〇〇人定員のいっぱいまで入り、会場は保護者の熱い期待に包まれました。

トップの河合塾の長谷川氏の講演会では

これまでの豊富な実績によるデータ・グラフが出され、受験者数や大学志望者数の推移や合格実績データ、伸びる生徒の特長など保護者の知りたいところに手が届く大変分かりやすい説明をされました。



河合塾長谷川氏による受験人口減グラフの説明

また名の通った大学だからという漠然とした目標でなく大学で何を極めたいか？が重要であって早くからその進路を決める必要がある旨お話されました。そしてグラフを用いた説明では少子化からいわゆる大学数過剰になる傾向にあることが手にとるようになり、大学間の生き残り競争が厳しくなっていることが実績グラフから理解できました。

次に広島県内の上記の国公立大学七校が順にプレゼンテーションをされました。いずれの学校も学長や副学長など、学校責任者がパソコンから議場大スクリーンのスライドを映して約十七分の説明をされました。



県立広島大学学長による教育方針説明

それぞれの学校に特徴や特色があり、入学すると即公務員待遇の所、英語での講義が通常の所、国際色人材豊かな所、平和教育を取り入れる所など各学校で特色を説明

されました。

日頃聞けない学長からの教育方針などのお話を直接お聞き出来て大変有意義なものと話が保護者から聞かれました。

当進路対策委員会では日頃の連絡網としてLINEを使い情報をやり取りし、会場の準備を進めて参りました。また皆で意見を出し合いデジタルでのアンケートを企画作成するなど説明会の内容を詰めて参りました。

当日の会場の準備やプログラムの進行具合も予定通りの良いものとなりました。今回、短い間のプロジェクト遂行のためのチームとして活動して参りましたが、当委員会のメンバーもそれぞれの役割を的確にこなし、チームとしてのまとまりも非常に良いものとなりました。

結果として保護者の満足度の高い説明会を開催することができました。

最後にコロナ過で開催が危ぶまれる中、多くの皆様に御参加くださったことに、あらためて感謝いたします。

参加者及び運営役員の皆様、事務局の皆様、すべての関係者の皆様、本当にありがとうございました。

(進路対策委員長 橋本勇二)

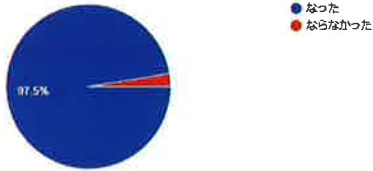


無事、説明会終了後の県高P連 会長・副会長・進路対策委員会の委員で記念撮影

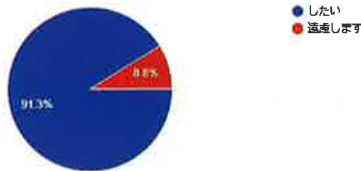
■ アンケート結果円グラフ

今回行ったアンケートの概要は下記のようになります。

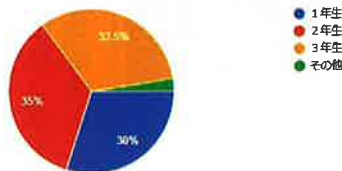
1. 進学説明会は参考になりましたか
80件の回答



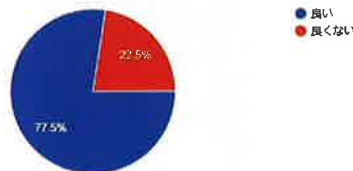
2. また参加したいですか
80件の回答



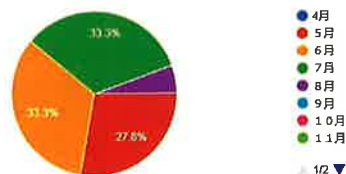
何年生ですか
80件の回答



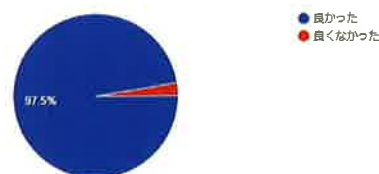
3. 時期はどうか
80件の回答



良くない方にお聞きします。何月ごろが良いですか
18件の回答



4. 講演はどうでしたか
80件の回答



■ アンケート概要

- 1 Googleformを使用したインターネット回答
- 2 URLはQRコードで提示
- 3 回答期間は約1週間
- 4 回答率約20%
- 5 集計は自動で円グラフ等を表示

■ アンケートからの見える考察

- 1 概して説明会に対する満足度は高く、「参考になった」が97%を超えている。
- 2 豊富なデータを示して講演した河合塾に「参考になった」とする意見が多かった。
- 3 普段あまり接触機会のない学長から直接、お話をお聞きできてよかったとの意見も多い。
- 4 改善を促す意見として、もっとゆっくり話を聞きたいなど時間的な制約に対する意見もあった。
- 5 コロナ過でソーシャルディスタンスで席をあげなければならない中、細かなアナウンスを要望する意見もあった。

■ アンケート意見欄からの抜粋

- 「大変参考になった。ただ、保護者よりも、子供が聞くべきだと思う。」
- 「1年生、2年生の段階で聞くべきだった。」
- 「今年度の受験対策について詳しく説明してほしい今の時期にやるなら対象者を分けて欲しい」
- 「概要も大事だが、毎年の学生の受験傾向や就職先などの辺りが多いなども含めての説明が良い。」
- 「出来れば広島だけでなく、福山でも開催してもらえれば嬉しいです。」
- 「時間配分が長いので、2部制にわけ大学も4つと3つに適当に分けて興味のある大学の話だけ聞ければいいと思う。」
- 「進学予定学部がある大学はパンフレットやホームページでは分からないお話もあり受験の参考にする時間となりました。ただ、裏話的な話をもう少し聞かせてもらえると良かったです。」

●説明会に対しての感想と改善意見は右参照（抜粋）

「第七十一回全国高等学校PTA連合会大会 石川大会」に参加して

令和四年八月二十五日から二十六日の二日間、石川県金沢市において全国大会が三年振りに現地開催されました。今年度は現地集合参加型並びにオンライン参加も可能とするハイブリッド形式の大会で、コロナ禍でも多くの仲間が繋がることのできる新時代の大会として開催されました。



大会実行委員長から、この二年間、コロナ禍で教育現場では一斉休校から始まり部活動、各大会も中止となり、当然PTA活動も全面休止されました。当たり前であった「集う・自由に話

ができる」ことの大切さ、そして一堂に会する意義を改めて認識頂く機会にとの、歓迎のお言葉がありました。

この一堂に会する貴重な二日間、幸いにも現地への参加が出来ましたので、私なりに感じた大会の内容を報告させていただきます。

一日目は小雨の天候でしたが、開催県である石川県の役員の皆様に温かくお迎えを頂き会場に入りました。

会場は、いしかわ総合スポーツセン



ターで、感染対策としてメインアリーナとサブアリーナを使用し、全国から約五〇〇〇名の参加者の中、ソーシャルディスタンスもしっかり確保されたものでした。

まずは、地元の高校生による華麗なアトラクションを見た後、開会式が行

われ、PTA活動へ御尽力された役員並びに学校へ表彰がなされました。

本年度の大会は、「輝く未来への礎」親から始める新時代の教育」のテーマ・サブテーマのもと開幕し、第一分科会から第四分科会による項目を分けての内容でした。

私は、「新時代の家庭教育」をメインテーマ、「今、伸ばすべき本当に必要な力」をサブテーマとした第一分科会に参加しました。

講師は二名の方で、講演一を慶応義塾大学総合政策学部教授の中室牧子氏による基調講演があり、「井の中の蛙効果」や「相対的はく奪」などわかりやすいお話で、集団の誰かと比較するのは良くなく、常に自分の力や、過去の自分と比較することが大事であると説明されました。

教育経済学者として、今後の教育は、自身が絶対的な信頼を置いている「データ」が重要となり、これら客観的なエビデンスに基づく教育施策が当然の社会になると話されました。

次に講演二として、はなまる学習会代表／NPO法人子育て応援むぎぐみ理事長の高濱正伸氏による基調講演が続いてあり、私の中では非常に心に響く内容であったと感じました。

子供たちが真の学力をつけるためには、もっている疑問をじっくり時間をかけて解決させることが大切で、「や

らされ・比較・人目・自身のコンプレックス」が子供の真の学力の妨げになっているというのを学びました。

また、親が出来る事は何か、現在の親は子供に対し過保護すぎるため任せることも重要で、すべてに親が関わるのではなく、親が出来る事として「誰かに任せる」例えば部活の先生であったり、それも大事であると説明されました。

そして一番心に響いたのが、親自身がどう生きるか。子育ての前にはまず自分、これらを大人が取り戻すことが大事で、「親こそ自分のやりたいことやりたい道を歩んでいるか」思春期の子は見ている。と最後まで熱く語られました。

やはり親自身の生き方、考え方が身近で最も大切な家庭教育であるとあらためて感じました。



最後には、お二人の講師によるディスカッションが行われ、参加者からの質問への対応等とても有意義な分科会により初日が終了しました。



記念講演

二日目は、㈱ファミリーマート顧問(前副会長・元社長)の澤田貴司氏による「やりたいことをやる」と題した記念講演があり拝聴しました。

澤田氏は、地元が石川県で学校卒業後上京され、伊藤忠商事では企業買収ユニクロでは事業戦略の立案、後にはファミリーマートの社長へ就任しサークルKサンクスの統合を完遂される等とてもバイタリテイがあり、また、笑いもあるなど、あつという間に時間が経過する内容の講演でした。

中でも印象に残ったのは、事業を進めるうえで大切な事は、利己ではなく利他であること。人に尽くし感謝されること。そうすることが結果自分に返ってくるという迫力をもって伝えてくださいました。

これから少しでも人に感謝されるよう、そうした気持ちを持ちながら、やりたいことをやる。改めて自身を振り返るいい機会となりました。

こうして二日間の大会も終了しましたが、テーマのとおり、親から始める

新時代の教育へととても参考となる内容であったと感じています。

終わりになりますが、コロナ禍で三年ぶりの集合による現地開催実現に向けて、多大な御努力と御苦労を重ねてこられました全国高等学校PTA連合会と石川大会実行委員会の皆様に、心から深い敬意と感謝を申し上げます。素晴らしい大会をありがとうございます。

(調査広報副委員長 永田宏之)

令和四年度 広島県大会

と き 十月三十一日(日)
と ころ 福山芸術文化ホール(リーデンローズ福山)

令和四年十月末に福山市で行われた三年ぶりの広島県高等学校PTA連合会広島県大会。テーマは「咲かせよう絆の花」心をついに新たな時代を切り拓け」。

それは四年前から計画されていたもの。まさに多くの困難を乗り越えての

～PTA功労表彰～ 御紹介

第71回全国高等学校PTA連合会大会石川大会では、永きにわたりPTA活動に御尽力いただきました次の皆様が御受賞されました。

令和4年度全国高等学校PTA連合会 会長表彰個人

- 高江一成 広島県高等学校PTA連合会前副会長
(広島県立呉商業高等学校元PTA会長)
- 原邦視 広島県高等学校PTA連合会前副会長
(広島県立御調高等学校元PTA会長)
- 二宮仁 広島県立安芸南高等学校前PTA会長



御受賞おめでとうございます。受賞されました皆様に感謝申し上げますとともに、心よりお祝い申し上げます。
(県高P連事務局)

開催であったのではないかと思います。今回の実行委員長である高橋氏の「やつと前に進めました。」という言葉、そして「ひとつながり」とひらがなで表してある「絆」と言う漢字、これらの中に、彼らの思いすべてが込められているように感じられました。

福山芸術文化ホールの会場へ入るとすぐに広島県立戸手高等学校の箏曲部が優しい音色と共に迎えてくれました。そして、木村副実行委員長の開会宣言に先立ち、同高校のダンス部と吹奏楽部のコラボレーションとして一糸乱れぬマーチングバンドも見ごたえありました。

続いて広島県立福山明王台高等学校書道部の流れるようなパフォーマンス。SNSに縛られがちな現在に対し「本物の瞬間に拘りたい」という心に響くメッセージ、息をのむような美しい紙面で観客を魅了していました。

また広島県立福山誠之館高等学校チアリーディング部のキラのある迫力のダンス。部員全員が心をついにしたチームワークがとても素晴らしかったです。

講演の演題は、「その子らしさの種を育む信じて見守り、共にいる」。多くの人々がメディア等でよく耳にしながらも、実生活においてはなじみの薄いLGBTQ+について、ここにいるhiroshimaの共同代表の常山敦己さん、高畑桜さんのお二人が赤裸々に御自身のライフストーリーを語ってくださいました。

お二方とも幼い頃から自分の性に違和感を持ち、また他者との違いに悩み、孤独感に苛まれていたとの事。しかし自分をありのままに受け止めてくれる存在に出会い、ありのままに生きていく勇氣を持つことができたそうです。自己否定をし自分を責め続けて生きていくという事は生きていくこと自体が恐怖となる、というお話を聞き、まだまだ性同一障害について理解できていないことを思い知りました。

この「ここいるhiroshima」は、お二方の経験をもとに、セクシュアルマイノリティをはじめ他者との違いに悩む子供たち、保護者のサポートをするために立ち上げられた団体です。

他者とのつながりの重要性も強く言われていました。同じ立場の人とつながる場所がある、受け止めてもらえる場所がある、ということは自分の居場所を手に入れることができ、ありのままの自分で大丈夫なんだ、という安心

感を手に入れることなのだ。自分が今まで当たり前だと思っていたことが、人によつては本当に得難いものであるかもしれない、ということ、また、一人ひとりとは違う、そしてその違いに寄り添う気持ちの大切さ、を強く感じました。

同時に、自分を含め多くの人が既存の価値観にとらわれ、ありのままを見ていくようでも、くべきという目で世間を見ていけないか、ということに改めて考えさせられる講演でした。

八・九%という数字は、セクシュアルマイノリティの現在の割合だそうです。十一人に一人の割合です。まだまだ世間では差別の目が向けられ海外では無理解のため悲しい事件も起きています。いつの日か、多種多様な性の在り方が当たり前になる世の中になれば、と願わずにはいられません。

最後の発表は、「神楽甲子園に賭け、神楽甲子園と駆けた二〇二一夏〜コロナ禍で魅せたみんなの意地」という広島県立吉田高等学校の事例発表でした。令和二年に神楽甲子園が中止となり、令和三年は必ずやる、との信念のもと奮闘し、高校生が大会では観客の前で思う存分演じ切る映像に感動しました。

一番心が動かされたのは、前の年に出場できなかった卒業生が応援に駆けつけてくれ、その時、大会開催は当たり前前だと思っていたが、それは当たり前

前ではない、感謝して演じる、と言っていたところ。私たちが、今まで当たり前前に享受していたことを感謝して生活することで、また違った何かが見えるのでは、と高校生に教わった感じでした。

全ての演目が終わり、実行委員長の閉会の挨拶で、「二年前、コロナで延期、そして去年オンラインでやるか延期するかのはざまで人とのつながりを感じた」「ここでやってよかったと思う」と、声を詰まらせて語られていたのを胸を熱くして聞いていた方も多くいらつしやつたと思います。

最後のスライドショーでは、多くの壁にぶち当たりながらも全員で前に進む一致団結ぶりが伝わり、温かいローズマインドを受け取り帰路につきました。

大会の実現にあたり、すでに子供たちが卒業している保護者も多く携わつていらつしやつたとの事、すべての関係者の方々へ心より感謝申し上げます。多くの感動を与えてくれた福山大会、本当にありがとうございました。

(調査広報委員 小川美樹)



県高P連岡崎会長も参加し、一致団結の輪

熱心な会議を重ねて...



実行委員会

広島県大会スナップ写真

三年ぶりの開催となりました広島県大会、たくさんのお写真がありましたので御紹介いたします。

福山誠之館高校
チアリーディング部



吹奏楽部



箏曲部

生徒 アトラクション ・作品

戸手高校

ダンス部



福山明王台高校
書道部



沼南高校 講演講師花束作成



福山工業高校
アルコール消毒液スタンド



開会行事



「絆」は
「ひとのつながり」

開会行事・幕間 ・会場風景・開会行事



会場内 客席



司会 (PTA)・福山マスコット (PTA)・MC (PTA)



福山地区連合会の皆様、ありがとうございました



講演講師

講演



講演内容

話せる人がそこに居るとのこと

相談されたときに
情報提供をする。必要な場所へつなぐ。アドバイスをする。
—それも、もちろん大切なこと。

安心して話せる人がそこに居る。
一緒に考えてくれる人がそこに居る。
同じ目線で話を聴いてくれる人がそこに居る。

尾三地区への激励花束
(福山工業高校PTA)



全県一斉あいさつ運動ポスター及び 「通学・交通マナー」標語 入賞作品の御紹介

広島県高等学校PTA連合会では、五つの委員会があり、各委員会毎に活動を行っております。

その一つ、健全育成委員会では、平成二十三年度より「全県一斉あいさつ運動」の事業を始め、今年で十二回目を迎えました。

毎年十一月一日を「全県一斉あいさつ運動」実施日とし、本年度も、各校で実施いただいたことと思います。

コロナ禍での「全県一斉あいさつ運動」は、感染症への注意をしつつ、行っていたいておりますので、ままならないことも多くあるかと思いますが、出来る範囲で御協力をいただきました。ありがとうございます。

また、「全県一斉あいさつ運動」を広く周知いただくためのポスター募集も続けて行い、健全育成委員会で厳正なる審査会を実施しました。

応募総数百十二点の作品の中から、広島県立広島国泰寺高等学校太田洸陽さんの作品が優秀賞に選ばれ、ポスターとなりました。

ポスターは、十一月一日の「全県一斉あいさつ運動」の前に各校へ配布し、掲示をお願いいたしました。

たくさんのお応募をいただきありがとうございました。受賞された生徒さんは次のとおりです。

〔優秀賞〕
広島県立広島国泰寺高等学校
太田 洸陽

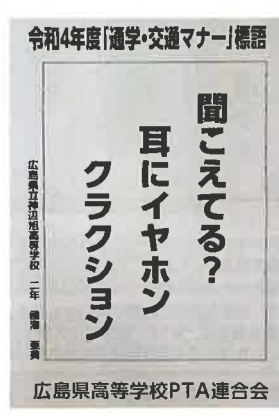


〔佳作〕
広島県立黒瀬特別支援学校 田平 真弘
広島県立神辺旭高等学校 平川諒汰郎
広島県立三次中学校 滑 愛子

また、「通学・交通マナー」に関する標語募集も引き続き行いました。
応募学校十三校から百十四名またはクラスの応募をいただき、各地区連合会で選考、六十二名またはクラスに絞り込み、委員会での厳正なる審査会を行いました。

御応募ありがとうございました。最優秀賞の作品はポスターとして、各校へ配布させていただきました。

受賞された生徒さんは次のとおりです。
〔最優秀賞〕
広島県立神辺旭高等学校 國澤 亜美



〔優秀賞〕
広島県立尾道東高等学校 熊田 結心
〔広島地区連合会賞〕
広島県立広島商業高等学校 松浦れもん
〔広島東地区連合会賞〕
広島県立広島高等学校 寺田 愛梨
〔広島北地区連合会賞〕
広島県立安古市高等学校 一年七組
〔尾三地区連合会賞〕
広島県立忠海高等学校 遠地 幹菜
〔福山地区連合会賞〕
広島県立福山誠之館高等学校(定時制) 宮地 海
〔三次地区連合会賞〕
広島県立日影館高等学校 佐々木友翼

次年度も引き続き、「あいさつ運動ポスター」「通学・交通マナー標語」の募集を行う予定です。
たくさんのお応募をお待ちしております。

(県高P連事務局)

令和5年 県高P連行事予定

- 1月14日(土) 令和4年度第2回単P会長研修会 (広島ガーデンパレス)
 - 3月中旬 令和4年度第2回常任委員会 (広島YMCA 本館会議室)
 - 6月6日(火) 令和5年度県高P連定例総会 (広島県民文化センター)
 - 6月下旬 令和5年度第1回常任委員会 (広島YMCA 本館会議室)
 - 7月14日(金) 第65回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 岡山大会 (倉敷市 倉敷市民会館)
 - 7月29日(土) 令和5年度第1回単P会長研修会 (広島YMCA 国際文化ホールほか)
 - 8月11日(金)(祝日) 県内国公立大学進学説明会 (広島県民文化センター)
 - 8月24日(木)~25日(金) 第72回全国高等学校PTA連合会大会 宮城大会 (仙台市 仙台市体育館カメイアリーナ仙台 ほか) ※令和6年 茨城県 令和7年 三重県 令和8年 大分県
 - 10月下旬~11月上旬 広島県大会 (尾三地区) (会場 未定)
 - 11月1日(水) 全県一斉あいさつ運動
- ※各大会、研修会等の開催については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、やむを得ず中止となる場合があります。御了承ください。

広島県高等学校PTA連合会

高校生総合保障制度

この制度の特徴

〈高校生総合保障制度は、団体総合生活保険のペットネームです。〉

1. 団体割引25%適用・損害率による割引25%適用 (天災危険補償特約保険料には損害率による割引を適用しません。)
2. 病気・けが・賠償事故・携行品等を補償
3. 国内外を問わず24時間の傷害・病気等を補償
○携行品(学校管理下動産補償特約)の補償は学校管理下中のみです。
4. 「メディカルアシスト」で24時間・365日無料で各種医療に関してご相談いただけます。
※詳細はパンフレットをご確認ください。
※補償期間(保険期間)は1年となります。(令和4年4月25日午後4時より令和5年4月25日午後4時まで1年間)
※中途加入は補償期間が異なります。詳しくは取扱代理店までお問合せください。
※令和4年度よりスマホ・PCから簡単に加入申込みができます。

〈保険金額と掛金(保険料)〉

補償内容		W3タイプ	W2タイプ	W1タイプ	Aタイプ	Bタイプ
個人賠償責任 (記録情報限度額 500万円)	国内	1事故 無制限	1事故 無制限	1事故 1億5,000万円限度	1事故 1億5,000万円限度	1事故 1億円限度
	海外	1億円限度	1億円限度	1億円限度	1億円限度	1億円限度
国内示談交渉サービス付き						
病気入院 (1日あたり)		5,500円	5,200円	5,000円	—	—
傷	死亡・後遺障害	469万円	435万円	344万円	311万円	245万円
	入院 (1日あたり)	6,500円	6,000円	5,000円	4,500円	3,500円
	手術	上記入院日額の10倍(入院中の手術)、5倍(入院中以外の手術)				
害	通院 (1日あたり)	3,500円	3,500円	2,600円	2,600円	1,500円
	地震・噴火・津波	○	—	—	—	—
	熱中症	○	○	○	○	○
細菌性食中毒	○	○	○	○	○	
携行品(学校管理下動産補償)		1年で20万円限度(自己負担額:1事故3,000円)		1年で10万円限度(自己負担額:1事故3,000円)		
被害事故補償		1事故3,000万円	1事故2,000万円	1事故1,000万円	1事故1,000万円	—
育英費用		200万円	150万円	100万円	100万円	50万円
地震・噴火・津波		○	—	—	—	—
保険料		16,650円	14,650円	11,650円	9,650円	6,650円
制度維持費		350円				
掛金(1年分)		17,000円	15,000円	12,000円	10,000円	7,000円

○携行品の損害保険金は1年間でW3、W2タイプは20万円限度。W1、A、Bタイプは10万円が限度となります。

(注)携行品の損害保険金のお支払額の合計が保険金額(W3、W2タイプは20万円限度:W1、A、Bタイプは10万円)と同額となった場合は、この携行品の補償は損害発生時に終了します。

※制度掛金は制度維持費350円を含んでおります。

※上記保険料は職種別Aの方を対象としたものです。お子様(被保険者-保険の対象となる方)が継続的にアルバイトに従事している等で、職種別Aに該当しない場合は、保険料が異なりますので、取扱代理店にお問い合わせください。

※病気入院(入院医療保険金)について:新規ご加入時の支払責任の開始時より前に被った病気については保険金お支払いの対象となりません。(ただし、新規ご加入時の支払責任の開始する日からその日を含めて1年を経過した後に生じた保険金支払事由については、保険金お支払いの対象となります。)

このご案内は団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

〈お問合せ先〉取扱代理店 榎東京海上日動パートナーズ中国四国本店 TEL:0120-018-217 令和4年3月作成 <21-TC11345〉

〈引受幹事保険会社〉



東京海上日動

(担当支社) 広島支店 広島中央支社
広島市中区八丁堀3-33 広島ビジネスタワー
TEL 082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は上記お問合せ先にご請求下さい。

〈共同引受保険会社〉



AIG損害保険株式会社 広島支店
広島市中区基町12-6 富士火災広島ビル
TEL 082-535-6010

この保険契約は、上記の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険株式会社が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

〈引受保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社(幹事保険会社) AIG損害保険株式会社